



在宅血液透析とは

患者さんの自宅で血液透析を行う
在宅医療です。

透析に必要な装置は病院からのレ
ンタルとし、自宅に設置をします。

必要な消耗品（血液回路やダイア
ライザー等）は、自宅に配送され
ます。



在宅透析のメリット



①通院の必要がなく、自分のライフ
スタイルに合わせて透析が出来る。

②生命予後がよい。

長時間透析、短時間頻回透析が出来るため体
への負担が少なく小分子～中分子の毒素の抜
けがよいです。

③社会復帰率が高い。

④家族との時間が増える。

在宅透析のデメリット



①介助者が必要

②自己管理能力が必要

③導入教育が必要

導入前に患者本人、介助者に対する約3週間の教育が必要です。

どんな透析形態にするか？

施設での透析はほとんどの患者さんが1回4時間、週3回の透析を行っています。

長時間透析や頻回透析は生命予後が良いと言われています。

例えば・・・

1回8時間・週3回

長時間透析

1回2時間・週6～7回

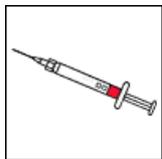
連日短時間透析

1回3時間・週5回

頻回透析



穿刺について

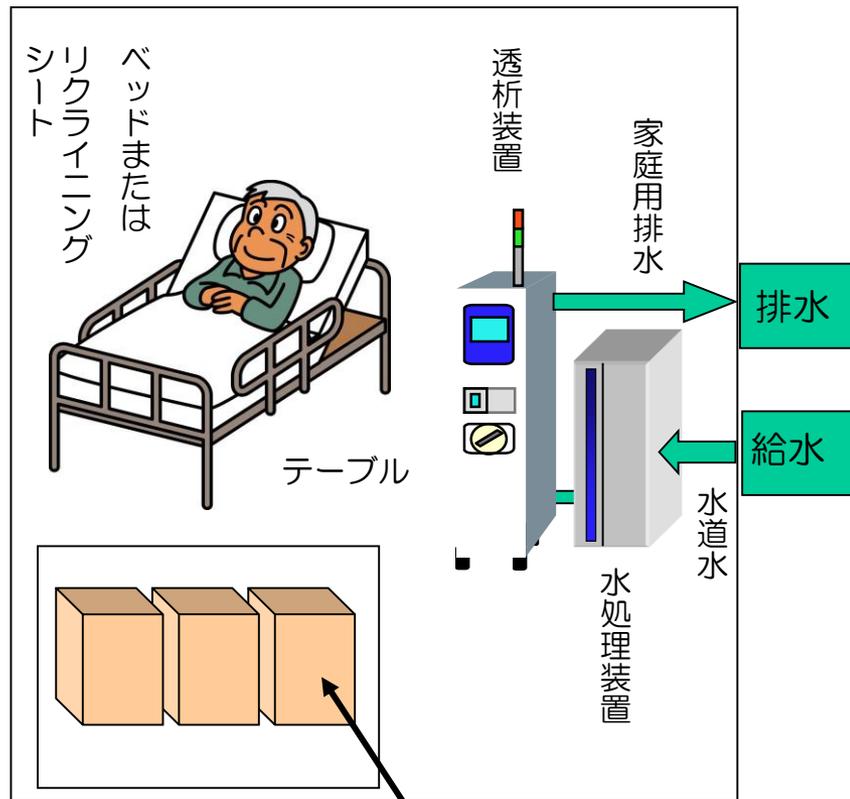


針を刺すのは原則として透析者本人の「自己穿刺」です。

介助者（本人以外）が穿刺を行う場合は、医療行為と考えられるため、有資格者（医師・臨床工学技士・看護師）でなければいけません。

在宅透析に必要な設備

部屋の広さ 4.5~6畳



消耗品を置いておく
スペース

押し入れ半間~1間程度

患者様が負担するもの

電気料金 +約8千円／月

水道料金 +約4千円／月

電気工事 約5～15万円

配管工事 約3～10万円

体重計（100g単位まで計れるもの）

体温計、駆血帯、など

※血圧計は透析装置に付属しているものを使用します。

在宅透析を始めるまでの流れ

外来受診・各部面談

外来診察で医師・看護師・臨床工学技士の面談があります。

教育訓練

8～16週間の教育プログラムを患者様に合わせて計画します。

家庭の下見

ご自宅に臨床工学技士、看護師、機器メーカーが訪問し、水道圧・水質・電気容量・透析予定室のレイアウトなど具体的に聞いたり、アドバイスをします。

在宅透析移行会議

訓練期間中の資料をもとに、在宅透析開始の可否を院内で話し合い、患者様に結果を報告します。

透析装置の自宅への設置・透析材料の供給

透析装置を自宅へ設置します。材料は始に1ヶ月分を指定日に配送します。その後は患者様ご自身で在庫を確認し、注文を行なっていただきます。

在宅透析を始めるまでの流れ

介助者トレーニング

緊急時に対応していただけるよう機械操作を2日程度トレーニングします。

家庭で透析開始

開始時は看護師、メーカー、臨床工学技士が家庭訪問し準備～終了まで立ち合い、相談やアドバイスをします。

定期診察・装置の保守点検・家庭訪問

毎月主治医による外来診察があります。装置の保守点検は年に1度行い、修理は随時行います。1ヶ月、6ヶ月、12ヶ月に家庭訪問します。

サポート体制

常時電話対応します。

さあ、始めてみませんか？

環境、経済状況、将来を充分考え、自身の生活に合った透析法の一つとして在宅血液透析があります。

自分の健康は自分自身が責任を持つこと、これが在宅血液透析の基本的な考え方です。

「自宅で自分で透析がしたい」という気持ちが重要です。

自主管理の大切さを理解して頂き、ご自宅で安全に治療が行えるよう土谷総合病院で、在宅血液透析教育訓練を行っています。

透析についての技術と知識を学習し、在宅血液透析を始めてみませんか？